

令和元年度第1回浜松市地域包括支援センター

運営協議会会議録

1 開催日時 令和元年6月27日(木) 午後7時00分から午後8時30分

2 開催場所 浜松市役所 北館1階 101、102 会議室

3 出席状況

出席(8名)

小野宏志委員 仲村秀子委員 月井英喜委員 松岡徹委員
 稲田謙一委員 浜名牧子委員 宇佐美嘉康委員 窪野伸治委員

欠席(2名)

才川隆弘委員 村上けい子委員

事務局(18名)

健康医療課 : 山中次長
 健康増進課 : 小山課長
 介護保険課 : 市川課長
 高齢者福祉課 : 小池課長、渡辺担当課長、亀田補佐
 地域包括ケア推進グループ : 坂本 G 長、成瀬副主幹、佐久間主任
 森下主任、近藤
 各区 長寿保険課 : (中) 大槻課長補佐、(東) 青野課長
 (西) 秋田課長、(南) 山内課長
 (北) 藤野課長、(浜北) 内山課長
 (天竜) 鈴木課長

4 傍聴者 4人

5 議事内容

- (1) 平成30年度地域包括支援センター事業報告
- (2) 令和元年度地域包括支援センター事業計画
- (3) 予防給付業務を委託する居宅介護支援事業所の追加承認

6 会議録作成者 高齢者福祉課 坂本 田佳子

7 記録の方法 発言者の要点記録
 録音の有無 有・無

8 会議記録

1 開会

2 会長挨拶

3 健康福祉部高齢者福祉課長挨拶

4 議事

(1) 平成30年度地域包括支援センター事業報告

◎概要

平成30年度地域包括支援センターの事業報告について説明し承認を得た。

◎発言内容

(事務局) 資料1-1、1-2、1-3、1-4に基づき説明

<質疑・意見>

(委員)

職員の欠員により、委託料の減額したところをもう一度説明してほしい。

(事務局)

減額したところは、ありたま、さぎの宮、あんま、大平台、芳川、細江である。

(委員)

欠員が生じているところの受託法人へ意向を確認するということだったが、意向確認だけでなく、市として職員が足りない地域包括支援センターに対して、更に踏み込んだ考えはなかったのか。

(事務局)

意向を確認しつつ、このままの状態での受託は適正でないと伝え、入れ替えも含めて協議した。

(委員)

協議の結果、ありたまは欠員が解消された。欠員が継続していたところには、もっと早い段階で法人に対して厳しく言うべきだったのではないか。法人によっては、配置すべき職員数を上回って配置してくれているところもある。欠員が生じているところも職員は頑張っているのだから、法人に対して指導すべきではないか。

(事務局)

4月の協議では、センター職員だけでなく直接法人と協議させてもらったので伝わったと思っている。欠員が長く続くのは好ましくないのだから、今後も早い段階で補充できるよう指導していく。

(委員)

浜松市は、一度委託するとずっと契約は継続なのか。

(事務局)

毎年公募はしていない。実地調査をして評価をした上で委託をしている。

(委員)

磐田市は3年契約と聞いている。再公募をしても手上げはないようである。そこまで

する必要はないが、法人の考え方によって人員の確保が違う。歯止め策ではないが、委託しただけではなく基準を設けてはどうか。

(事務局)

毎年公募はしていないが、単年度契約である。そのため、業務がある程度の基準で実施できているかを、実地調査で確認している。その結果を、運営協議会で報告した上で、の次年度の委託をしている。

(事務局)

欠員が継続していた法人と協議をする中で、市としても入れ替えを考えている姿勢を見せたが、人材が不足している中で、新たな応募がどの程度見込めるか懸念されたところである。採用についてご努力いただいた上で、もしかなわない場合には入れ替えを検討していかざるを得ない。これまで地域との関係性が出来ているので、新たな関係を作ることをご心配されたところなので、入れ替えについては慎重に考えている。

(委員)

ありたまの立地条件について、病院の奥でやっているのはよくない。地域の高齢者が気軽に相談に行けるように表に出してもらいたい。行政は指導をしてもよいのではない。積志地区にしっかり根を下ろしているのは職員の頑張りだと思うが、法人としてはもう少し努力すべきである。

(委員)

今回から職員の定数配置によって基準額を決めている。何年か見てお金が入ってこなければ、法人も頑張って人員配置したり採用したりするので、それでも改善されなければ考えればよい。もう少し経過を見てはどうか。まだ、すぐ入れ替えという段階ではない。

北遠中央の配置すべき職員数が、高齢者人口に対して多いのはなぜか。

(事務局)

北遠中央はかなり広域であり、支所として、水窪と佐久間の2か所を開設しているため、一人ずつ増員し5人としている。

(委員)

看護師と保健師を養成する立場から見ると、保健師が増えなくて3職種のバランスが悪いことに気がいく。私が知っている地域包括支援センターで働く職員は、病棟で働いた後、結婚して一旦は離れて、子供が大きくなってその後働いている。今年も150人中70人くらい保健師過程を取り免許を持って卒業するが、病院で働く人が圧倒的に多い。数年前から保健師の免許を持ち登録をした人に、大学を卒業した後5年間は求人情報を配信するシステムを整えている。フェイスブックでも配信している。保健師として働く場としての地域包括支援センターの認知度が低いので、教育の現場でも意識していきたい。

(委員)

ケアマネジャーの指導件数が増えているが、地域ケアマネ演習事業も行い、ケアマネ連絡協や他団体も研修を行っていても、効果はなくケアマネのレベルが上がっていないのではないかと感じてしまう。演習事業との連動や、ケアマネジャーの指導内容を教えてもらわないと改善できることが見えてこない。

(事務局)

実地調査等の機会を通して確認していく。

(委員)

事業実績と委託料の金額は連動しているのか。

(事務局)

必ずしも数と連動していない。実績払いの家族介護教室については、外部講師を招きお金をかけて実施しているところもあれば、職員だけでやっているところもある。

(委員)

人数が多くても働いていないとか、人数が少なくても頑張っているところもあると思うが、どうか。

(事務局)

職員が足りないセンターは、多くの事業を実施するのが大変な状況である。先進的に頑張っているところと、決められた業務はやっているというところがある。

(委員)

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の中で、ケアマネサロン、ケアトークとはどのような活動か。

(事務局)

ケアマネジャーを集めて知識の普及や情報交換を実施している。業務として実施する勉強会の名称がそうになっている。

(委員)

ケアマネジャーは専門職なのに、包括に研修をしてもらわないといけないのか。

(事務局)

ベテランの方もいれば、新しくケアマネジャーになった方もいる。地域包括支援センターは、ケアマネジャーの指導・育成の役割もある。

(委員)

どの業界でも経験者、初心者がいる。いろいろな形で研修したり、連携して顔の見える関係を作っている。

(会長)

他に意見はないか。

異議はないか。

(委員一同)

異議なし。

(2) 令和元年度地域包括支援センター事業計画

◎概要

令和元年度地域包括支援センター事業計画について説明し承認を得た。

◎発言内容

(事務局) 資料 2-1、2-2 に基づき説明

<質疑・意見>

(委員)

認知症地域支援推進員は、どのくらいいるか。

(事務局)

地域包括支援センターは、各1名以上資格を取ってもらうようにしている。

(委員)

報告書や計画書は地域の方に公表はしているか。広報等で知ることはできないのか。

(事務局)

この計画書は市へ提出してもう物で、地域へは公表していない。圏域の特徴や課題については、地域包括支援センターから地域に向けて発信しているところはある。

(委員)

ロコモーショントレーニングをやったことで、要介護の申請に至らないで自立が長引いたことのデータはあるか。

(事務局)

平成29年度の新規でロコトレに取り組んだ人の状況を見ると、開眼片足立ちの秒数が伸び、転倒のリスクが高かった方が、リスクが少なくなったという分析結果が出ている。

(委員)

地域包括支援センター於呂へ実地調査行ったとき、センター長が前向きにやっていたが、数字上で見ると少な目となっている。センター長が変わったのか。

(事務局)

今年度からセンター長が変わったが、前のセンター長も残っており、問題なく実施している。

(委員)

それぞれの地域で実情に応じた目標を掲げているが、適正に分析されているか。

(事務局)

地域の実情は地域包括支援センターに書いていただいているが、地域の高齢者人口や、事業対象者、要支援者・要介護者人数のデータ等、提供できるデータは浜松市より情報提供し、地域の実情を踏まえセンター内で検討し目標を決めている。

(委員)

概ね、計画書に書かれている地域の特徴は妥当と判断しているか。

(事務局)

関係機関と連携して情報収集したり、地域の声を拾ったりして、地域の特徴をつかんでいるため、妥当と判断している。

(委員)

他に意見はないか。

異議はないか。

(委員一同)

異議なし。

(3) 予防給付業務を委託する居宅介護支援事業所の追加承認

◎概要

予防給付業務を委託する居宅介護支援事業所の追加承認について説明し承認を得た。

◎発言内容

(事務局) 資料 3 に基づき説明

<質疑・意見>

(会長)

意見はないか。

異議はないか。

(委員一同)

異議なし。

≪連絡事項≫

(事務局)

本日の議事録は、とりまとめ送付するので確認願う。

4 閉 会